

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立緑台小学校
-----	------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> 「言葉の特徴や使い方」や「我が国の言語文化」の学習内容が定着している。国語の授業で学習した基礎的な知識が身に付いていると考えられる。 「話すこと・聞くこと」と「書くこと」の学習内容が定着している。自分の意見を論理的にまとめ、言葉にして発信する力や、他者の話を聞いて理解する力が身に付いていると考えられる。 授業内での意見交換やグループディスカッションを通じて、コミュニケーション能力が育まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単一の文章を読む力は高いものの、複数の情報を比較したり、関連付けたりする、より高度な読解力を育むこと。 複雑な情報を正確に理解した上で、その思考プロセスを論理的かつ明確な文章として表現する力は、さらなる向上が期待できる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な計算問題能力が身に付いている。日々の繰り返し練習が確実に成果を結び、児童の中に計算や知識の土台がしっかりと築かれていると考えられる。 グラフなどの与えられた情報を正確に処理できる。 図形の基本的な性質を正確に把握できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 思考力や表現力を必要とする応用的な問題には、まだ伸びしろがある。 図形の知識を応用して、単に「知っている」だけでなく、「なぜそうなるのか」を論理的に考え、それを言葉で明確に表現すること。 割合などの複雑な問題で、文章を深く読み解き、計算方法を導き出すこと。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 実験方法について、単に知識を暗記しているだけではなく、実験を通して得た情報から論理的に考察し、結論を導き出す力が育まれている。 「水の温度変化」や「水の状態変化」について、関連する知識をしっかりと理解している。 実験や観察のデータ(グラフ、表など)から必要な情報を素早く、正確に読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎知識の定着にムラがあり、科学の土台となる基本的な用語や原理の知識を定着させること。 金属によって磁石に引き付けられる物、電気を通す物があることの知識を身に付けること。 科学的な思考を言語化し、他者に明確に伝えること。
質問調査	<ul style="list-style-type: none"> 朝食を毎日食べている。 起床の時刻や就寝時刻など、規則正しい生活を送っている。 自然の中で遊んだり、学習したりする経験をしている児童が多い。 地域や社会を良くするために何かしてみたい、と考えている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 困りごとや不安があるときに、先生や大人にいつでも相談できること。 毎日新聞を読むなど、活字に触れること。 タブレットやICT機器などを、目的に応じて効果的に活用すること。 学級会などの話し合いを生かして、解決方法やめあてを決めること。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着は、本校で実施しているマイプランの成果が出ていると考えられる。引き続き、自分で計画を立て、自分で考えて学習に取り組む姿勢を大切に、家庭学習においても同様の取組ができるようにしていく。 教科書だけでなく、新聞記事や身近な資料なども活用し、文章から筆者の意図や背景を深く読み取るようにしていく。 単に答えを出すだけでなく、「なぜそう考えたのか」を言葉や文章で説明する練習を日常的に取り入れていく。また、授業中の発表やグループディスカッション、ノート、ICT機器などを活用していく。 単にICT機器を活用するだけでなく、効果的な場面や方法を学年や校内で検討し、より児童の学習意欲や達成感につながるようなものにしていく。
--

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方に知っておいてほしい内容

<ul style="list-style-type: none"> 児童は「早寝・早起き・朝ごはん」といった基本的な生活習慣がしっかりと身に付いています。生活リズムが整っていることは、学習や学校生活への集中力にも良い影響を与えています。 どの教科も無回答の設問がとても少ないです。一人ひとりが最後まで粘り強く取り組む姿勢を持ち、学習に前向きに向き合っている様子がうかがえます。 児童は、学校でICT機器を使いこなし、学習に役立っています。学習以外では、オンラインゲームやSNS、インターネットなど、利用のルールやマナーの指導とセキュリティー対策がトラブル未然防止のために重要です。学校でも情報モラル指導をしていますが、ご家庭でもルールやマナーの徹底をお願いいたします。 「地域や社会をよくするために何かしたい」と考える児童が多いです。身近な「ざい」を起点とした協働的な学びを地域の方のご協力のもと推進している成果だと考えます。今後もご家庭では規則正しい生活習慣の継続を、地域の皆様には子どもたちの学びや成長を温かく見守っていただけますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。
--